

設計革新セミナーの開催のご案内

第515回（2021年10月度）例会

主催：東京設計管理研究会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当研究会に対しまして、格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、標記のセミナーを下記要領にて開催致しますので、ご多忙のことと存じますがご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

また、セミナーの出欠確認をさせていただきますので、電子メールにて **10月8日(金)必着**で、担当幹事までご連絡の程お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 : 2021年10月13日(水) 15:00~16:50
2. 開催方法 : ZoomによるWeb会議
幹事よりWeb会議の案内を前日までに送信させていただきます。
3. 設計革新セミナープログラム
 - (1) 会長挨拶 (15:00~15:05)
 - (2) 発表 (15:05~15:45)
 - ・テーマ1 : 設計工学雑話 QFD・AHP・SPC (15:05~15:45)
 - ・発表者 : プロセス設計塾 (PSJ) 西本明弘氏
 - ・発表内容 : AHP : Analytic Hierarchy Process (階層分析法) は作戦行動の選択にも使われる意思決定手法 (ペルー日本大使館占拠事件が有名) ですが、その一部は QFD: Quality Function Deployment (品質機能展開) の入り口である顧客要望 (各 Spec の重要度) 把握手段としても利用され、JAXA でも使っているようです。AHP の仕組みと問題点、改善策 SPC について紹介します。
 - ・質疑応答 (15:45~15:50)
 - << 休憩 10分 >> (15:50~16:00)
 - ・テーマ2 : テレワーク時代のプロジェクト管理の課題と方策 (DSM の応用) (16:00~16:40)
 - ・発表者 : プロセス設計塾 (PSJ) 西本明弘氏
 - ・発表内容 : テレワーク時代で細かなコミュニケーションもとりづらく、連絡もれ等によるプロジェクト遅延リスクや PM の負担は増しているのではないのでしょうか。そこで、Design Structure Matrix を応用してメンバー全員の作業依存構造を俯瞰し、クリティカルパスを把握したうえでプロジェクトを最適計画&省力運営 (PM の負担軽減) する方法について紹介します。
 - ・質疑応答 (16:40~16:50)
4. 懇親会
18:00~20:00 Webによる懇親会を予定しています。詳細は別途連絡します。
出欠予定をご連絡下さい。